

東日本大震災の発災・復旧・復興 --地理学の取り組みと課題--

2013年9月28日(土)～29日(日)
会場：福島大学L講義棟 L-1教室(第1会場)

〒960-1296 福島県福島市金谷川1

大会ウェブサイト

<http://www.ajg.or.jp/meeting/2013autumn.html>



写真提供 高木 亨氏

9月28日(土) 13:00～16:00

第1部「福島原子力災害に対する地理学的支援」

主催：日本地理学会・福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

オーガナイザ：熊木洋太(専修大)・宇根 寛(国土地理院)・初澤敏生(福島大)・高木 亨(福島大)

<基調講演>

山川充夫(帝京大・福島大)：東日本大震災・原子力災害を契機とする震災復興の地理学

<一般講演>

中村洋介(福島大)：東北地方太平洋沖地震の概要について

大瀬健嗣(福島大)：福島第一原発事故により沈着した放射性Csの分布と対策

佐藤彰彦(福島大)：原発避難者を取り巻く問題の構造

佐々木達(札幌学院大)：福島県いわき市における農産物の風評被害の実態

高木 亨(福島大)：原子力災害が福島の商工業に与えた影響と地理学的支援

吉田 樹(福島大)：福島県の地域公共交通と災害復興まちづくり

<総合討論>

9月29日(日) 9:00～12:00

第2部「東日本大震災の災害地理学的検証

--想定外を繰り返さないために--

主催：日本地理学会災害対応委員会

東日本大震災の津波や液状化の発生様式は多様で、いまだ混沌としている。

災害地理学的な分析から初めて見えてくる真実を整理し、防災上の教訓を考える。

9月29日(日) 13:00～17:00

第3部「仮設住宅から復興公営住宅へ

--地理学と隣接分野からの提言--

主催：日本地理学会被災地再建研究グループ

仮設住宅についての研究成果を踏まえて、生活環境や住民の健康など、今後の

「復興公営住宅」のあり方を多角的に議論します。



首都圏の大学生による復興支援(米の販売)
写真提供 高木 亨氏

入場無料

どなたでもご参加頂けます

【お問い合わせ】日本地理学会事務局

TEL 03-3815-1912 FAX 03-3815-1672

e-mail office@ajg.or.jp